

第21週（平成30年5月21日から5月27日まで）の集計結果

コメント

【今週の傾向】

○感染性胃腸炎は、定点あたり11.4人で、先週（第20週 定点あたり11.6人）と横ばいとなっています。

○A群溶血性連鎖球菌は、定点あたり5.0人（先週：第20週 定点あたり5.6人）とやや減少しました。

春から初夏にかけて流行する疾患です。例年に比べ、報告数が多い傾向にあります。

○咽頭結膜熱（プール熱ともいう）は、定点あたり1.9人で、先週（第20週 定点あたり1.1人）より増加しました。

約9割が3歳以下となっています。夏に多い疾患で、感染経路は接触・飛沫感染です。

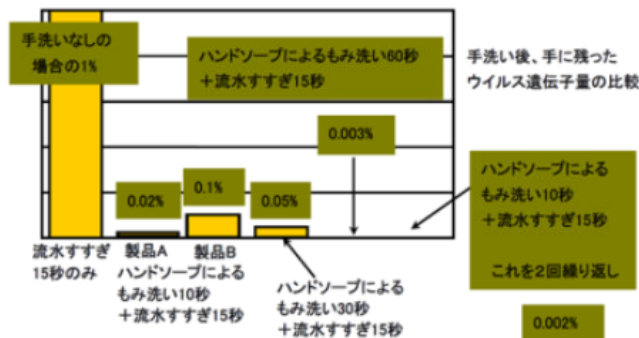
☆家庭、通園通学先、職場等で、手洗い、咳エチケット、排泄物・吐物の適切な取り扱い（消毒）等を励行し、感染の拡大を防止しましょう。

- ・ 第20週 : 5月14日から5月20日まで
- ・ 第21週 : 5月21日から5月27日まで
- ・ 小児科定点 : 八王子市内 小児科14ヶ所 都内 264ヶ所
- ・ インフルエンザ定点 : 八王子市内 小児科11ヶ所、内科7ヶ所
- ・ 東京都基幹及び小児科病原体定点医療機関 : 都内43ヶ所

○効果的な手洗いの方法

「石けんを充分泡立てた後すすぐ」を2回繰り返すと効果的です。

手洗いの効果



○都内では、海外渡航後に発症した患者等の報告があり、注意が必要です。

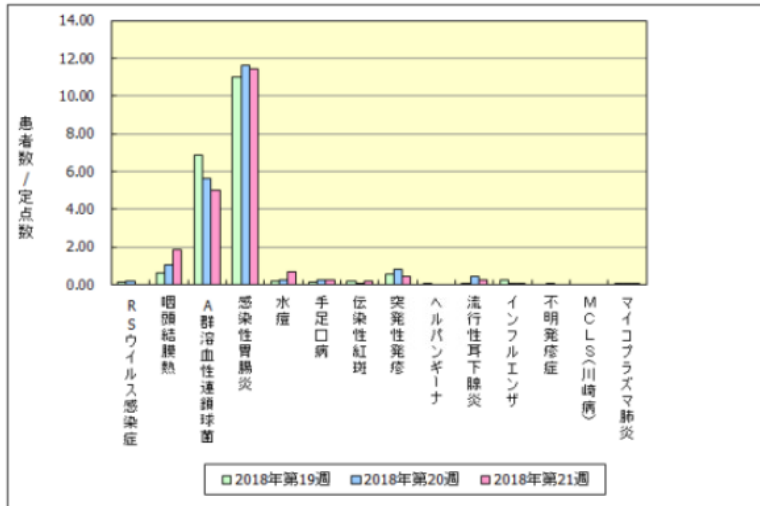
■東京都感染症情報センター

・ [「感染症ひとくち情報 麻しんに注意しましょう！」](#) (外部リンク)

・ [「麻しんの流行状況」](#) (外部リンク)

第21週の発生状況

感染症法の施行規則の改正に伴い、百日咳は平成30年1月1日から報告方法が変わり、全数報告疾患となったため、発生状況については、[風しん・麻疹・百日咳発生状況](#)をご覧ください。



第21週疾患毎発生状況グラフ

	2018年第16週	2018年第17週	2018年第18週	2018年第19週	2018年第20週	2018年第21週	第1週からの合計
RSウイルス感染症	1↓	3↑	2↓	2→	3↑	0↓	96
咽頭結膜熱	3↓	5↑	4↓	9↑	15↑	26↑	109
A群溶血性連鎖球菌	62↑	56↓	13↓	96↑	79↓	70↓	1065
感染性胃腸炎	143↑	157↑	63↓	154↑	163↑	160↓	2408
水痘	3→	2↓	4↑	3↓	4↑	10↑	80
手足口病	1↑	1→	2↑	2→	4↑	4→	37
伝染性紅斑	1↓	5↑	2↓	3↑	1↓	3↑	30
突発性発疹	9↑	6↓	3↓	8↑	11↑	6↓	115
ヘルパンギーナ	0→	1↑	0↓	1↑	0↓	0→	3
流行性耳下腺炎	3↑	2↓	0↓	1↑	6↑	4↓	28
インフルエンザ	15↓	16↑	2↓	4↑	1↓	1→	8092
不明発疹症	0→	1↑	1→	0↓	1↑	0↓	15
MCLS(川崎病)	0→	1↑	0↓	0→	0→	0→	4
マイコプラズマ肺炎	0↓	2↑	1↓	1→	1→	1→	18

第21週疾患毎発生状況表

第21週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	MCLS(川崎病)	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	0	10	0	21	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
1歳	0	6	4	35	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0
2歳	0	0	1	15	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3歳	0	7	5	16	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
4歳	0	1	14	16	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
5歳	0	0	9	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6歳	0	1	8	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7歳	0	0	5	7	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8歳	0	0	7	7	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
9歳	0	1	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	13	16	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0
10～12歳											0			
13～14歳											0			
15～19歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	26	70	160	10	4	3	6	0	4	1	0	0	1

第21週年齢別発生状況表